

かみたかしゅち

上高湿地の概要

位置 東経137.25度、北緯35.12度

標高 190~240m

面積 0.34ha(集水域を含めると5.45ha)

形態 貧栄養性の湧水湿地

- その他**
- 愛知高原国定公園第2種特別地域に指定
 - ラムサール条約登録日/平成24年7月3日(東海丘陵湧水湿地群として)

※「ラムサール条約」
特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約

上高湿地には地形が異なる湿地が3ヶ所あり、その植生から名前がつけられました。(内面参照)

- ▶トウカイコモウセンゴケの湿地
- ▶シデコブシの湿地
- ▶シラタマホシクサの湿地 ※上鷹見小学校児童が考案

春先にはシデコブシ、夏にはサギソウやトウカイコモウセンゴケ、秋にはシラタマホシクサやミカワシオガマなど、3ヶ所の異なる地形に四季を通じて多種多様な植生を見ることができます。

上高湿地の保全と利活用

一般的に湧水湿地は、土壌の堆積や植物の侵入によって次第に森林へと変化し、数十年程度で消滅すると言われています。上高湿地では、湿地と東海丘陵要素植物を保護するため、地元保全団体等による管理と定期的な保全作業が行われています。

また、湿地を通じた環境学習の場として地元小学校等が活用しています。



保全作業



ラムサール条約湿地

やなみしゅち おんしんじしゅち かみたかしゅち
 <矢並湿地 / 恩真寺湿地 / 上高湿地>



発行
 豊田市環境部環境政策課
 〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
 TEL 0565-34-6650(直)
 FAX 0565-34-6759

関連施設
 豊田市自然観察の森
 〒471-0014 豊田市東山町4丁目1206番地1
 TEL 0565-88-1310 FAX 0565-88-1311
 ●ホームページ
<https://toyotanoshizen.jp/>

※再生紙を使用しています。



豊田市

ラムサール条約湿地

上高湿地



とうかいきゅうりょうようそしょくぶつ ゆうすいしっち
東海丘陵要素植物と湧水湿地

「東海丘陵要素植物」とは、東海地方（愛知、岐阜、三重、静岡）の丘陵地帯に生育する、栄養の少ない痩せた土地に適応した植物のことです。

これらの植物は、土壤に栄養の少ない「湧水湿地」で多く見られます。

上高湿地にはミカワシオガマ、シデコブシ、トウカイコモウセンゴケ、シラタマホシクサ、ヘビノボラスなどが生育しています。

きゅうりょうぶたい

※湧水湿地

斜面が崩壊した場所などに湧き水が集まってできた湿地のことで、栄養を含む泥炭がほとんど無いため、貧栄養となりやすい。

上高湿地



主な植物の**開花時期**

植物名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
シデコブシ		■							
ハルリンドウ			■	■					
ヘビノボラス			■						
モウセンゴケ				■	■				
トウカイコモウセンゴケ				■	■				
カキラン				■	■				
コバノトンボソウ				■	■				
サギソウ						■	■		
ホザキノミミカキグサ						■	■		
ミスギボウシ							■	■	
ミスギク								■	■
シラタマホシクサ							■	■	
ミカワシオガマ								■	■
ウメバチソウ									■
リンドウ									■

開花時期は2014年～2015年の調査による。



湿地の植物

春



ハルリンドウ



シデコブシ

夏



サギソウ



トウカイコモウセンゴケ



モウセンゴケ



ホザキノミミカキグサ



カキラン

秋



シラタマホシクサ



ミスギボウシ



ミカワシオガマ



ウメバチソウとシラタマホシクサ



ミスギク